

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

水守 理智

1. 授業の概要(ねらい)

財務諸表の作成基準・表示基準に関連する会計法規や会計規則を学び、上場会社等の年次報告書に当たる有価証券報告書の経理の状況に記載されている実際の財務諸表でどのように適用されているかを事例を交えて学習します。また、有価証券報告書にどのような情報が記載されているかを理解し、財務諸表及び財務諸表以外の情報から企業の経営状況をどう見るかを学びます。

演習 I においては、会計基準と財務諸表の仕組みや基本原則の理解に重点をおいて演習します。

本演習では日商簿記3級程度の知識があることを前提にしていますが、受講者の簿記のスキルを考慮し、7.各回の授業内容に示した内容とは別に、または並行して、簿記一巡の手続きについて演習を行う予定です。

2. 授業の到達目標

財務諸表の作成や表示に関する基本的なルールを理解し、そのルールや規則がどこに記載されているか知り自ら調べることができるようになることを目標とします。

また、有価証券報告書から企業の経営環境や経営状況を読み解くための基礎を習得します。

3. 成績評価の方法および基準

演習での課題の理解度やディスカッションでの発言内容と態度40%、レポートや試験の結果60%を目途に総合的に判断して成績評価を決定します。

4. 教科書・参考文献

教科書

田中建二 『財務会計入門第5版』（中央経済社）

参考文献

滝澤ななみ スッキリわかる日商簿記3級第11版（TAC出版）

中央経済社編 『新版会計法規集』 最新版（中央経済社）

5. 準備学修の内容

自ら理解度を確かめたり発展的な学習に繋げられるよう毎回ドリルや課題を課す予定です。課題の成果や演習問題の解答、質問などを次の授業で発表できるようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

経済関連のニュースに興味を持ち、それが財務諸表にどう影響するかという意識を持って考えてみてください。財務諸表は複式簿記により作成されているため、財務諸表の理解には最低簿記3級程度のスキルが不可欠です。簿記の知識がない人は並行して簿記の勉強をすることを強く推奨します。このシラバスに掲載した授業計画は財務諸表論の初歩の論点である程度網羅していますが、その学習深度や範囲は個々の受講者の理解度や興味分野やその時のトピック等によって適宜変更または見直しをします。課題の配布や提出などをLMSを利用して行う予定ですので、LMSを使える環境は必要です。

7. 授業内容

- 【第1回】 <オリエンテーション>
 - ・演習目的、演習方法、成績評価等の説明
 - ・自己紹介
- 【第2回】 <財務会計の基礎>
- 【第3回】 財務会計の基礎(会計基準)
- 【第4回】 財務諸表の仕組み(財務諸表の種類)
- 【第5回】 財務諸表の仕組み(貸借対照表)
- 【第6回】 財務諸表の仕組み(損益計算書)
- 【第7回】 会計基準1
- 【第8回】 会計基準2
- 【第9回】 棚卸資産の会計1
- 【第10回】 棚卸資産の会計2
- 【第11回】 棚卸資産の会計3
- 【第12回】 有形固定資産の会計1
- 【第13回】 有形固定資産の会計2
- 【第14回】 まとめ ミニテスト
- 【第15回】 まとめ 期末試験